

官報

號外 昭和六年二月十四日

○第五十九回帝國議會貴族院議事速記録第十五號

昭和六年二月十三日(金曜日)午前十時二十四分開議

議事日程 第十五號

昭和六年二月十三日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十四日)

第二 震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

○議長(公卿德川家達君) 昨日 皇后陛下御著帶ノ式ヲ行ハセラレマシタニ付キマシテ、議長ハ今朝大宮御所ヘ參入イタシマシテ、皇太后陛下ニ恐悅ヲ言上イタシマシタ

○議長(公卿德川家達君) 本日ノ報告ハ如何ニモ長イ時間ヲ要シマスカラ、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ省略イタシタイト考ヘマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

昨十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

國際決濟銀行ニ租税等ヲ課セザルコトニ關スル法律案

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表(第三回報告)

同日豫算委員長ヨリ左ノ通分科ヲ決定シ及分科擔當委員ヲ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

第一分科(農人、大藏省)

伯爵柳澤 保惠君

官報號外 昭和六年二月十四日 貴族院議事速記録第十五號 議長ノ報告 議員ノ請願

第二分科(外務省、司法省)

兼務

侯爵佐佐木行忠君

菅原 通敬君

八田 嘉明君

長岡隆一郎君

瀨川彌右衛門君

侯爵細川 護立君

侯爵中御門 經恭君

子爵伊東 祐弘君

子爵西尾 忠方君

男爵坂本 俊篤君

山川 端夫君

松村 義一君

花井 卓藏君

津村 重舍君

瀨川彌右衛門君

兼務

伯爵柳澤 保惠君

子爵曾我 祐邦君

川村 竹治君

倉知 鐵吉君

山岡萬之助君

第三分科(內務省、支部省)

兼務

子爵岩城 隆德君

花井 卓藏君

第四分科(陸軍省、海軍省)

公爵一條 實孝君

侯爵佐佐木行忠君

子爵大久保 立君

子爵立花 種忠君

男爵鍋島 直明君

男爵井上 清純君

森 平兵衛君

山崎 龜吉君

兼務

男爵大井 成元君

子爵西尾 忠方君

男爵坂本 俊篤君

嘉納治五郎君

內田 嘉吉君

山川 端夫君

石渡 敏一君

加藤政之助君

第五分科(農林省、商工省、逓信省)

子爵曾我 祐邦君

子爵岩城 隆德君

男爵平野 長祥君

內田 嘉吉君

男爵深尾隆太郎君

橋本圭三郎君

奥田榮之進君

藤原銀次郎君

八木 春樹君

兼務

子爵秋元 春朝君

三井清一郎君

男爵藤村 義朗君

男爵稻田 昌植君

阪本彰之助君

森 平兵衛君

第六分科(鐵道省、拓務省)

侯爵大隈 信常君

男爵大井 成元君

子爵保科 正昭君

子爵秋元 春朝君

小松謙次郎君

川村 竹治君

男爵稻田 昌植君

山之內 次君

倉知 鐵吉君

菅原 通敬君

八田 嘉明君

土田 萬助君

兼務

侯爵細川 護立君

男爵井上 清純君

藤田 四郎君

大津淳一郎君

同日政府ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第五十九回帝國議會內務省所管事務政府委員

內務書記官 大達 茂雄君

同 岡田 周造君

內務事務官 安井 英二君

○議長(公卿德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、仁尾君病氣ニ付キ十四日開議ノ請願ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコ

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

トニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程變更ニ付テ御諮リヲ致シマス、議事ノ都合上、本日ノ日程第二、震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ヲ、日程第一ノ前ニ付議シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、政府提出、衆議院送付、第一讀會、小川政府委員

震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和六年二月十日

衆議院議長 藤澤幾之輔
貴族院議長 公爵德川家達殿

震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案

第一條 政府ハ震災(昭和五年十一月二十六日ノ震災及之ニ伴フ火災ヲ含ム以下同ジ)ニ因ル被害者ノ震災地ニ於テ納付スベキ昭和五年分ノ第三種所得稅第三期分、同第四期分、個人ノ營業收益稅第二期分及乙種資本利子稅第二期分ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第二條 政府ハ震災ニ因リ著シク利用ヲ妨ゲラレタル土地ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地租ヲ免除スルコトヲ得

第三條 政府ハ震災地ニ於テ納付スベキ昭和六年分ノ第三種所得稅、個人ノ營業收益稅及乙種資本利子稅ニ限リ課稅

ニ關スル申告及申請並ニ課稅標準ノ決定ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四條 政府ハ第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租税ニ付其ノ處分ノ確定スルニ至ル迄税金ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第五條 第一條及第三條ノ震災地ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租税ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除セラレザルモノト看做ス

前項ノ規定ハ直接縣稅ニシテ震災ニ因リ輕減又ハ免除セラルルモノニ付之ヲ準用ス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○政府委員(小川郷太郎君) 茲ニ議題トナリマシタ震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ノ說明ヲ致シマス、昨年十一月ノ二十六日ノ伊豆地方ニ於ケル震災ノ被害ハ相當ニ激甚デアリマシテ、被害者ニ對シテハ誠ニ同情ニ堪ヘナイ次第デアリマス、幸ニシテ火災ガ少ナカッタノデ、全體トシテハ其被害ハ比較的輕微デアリマシタガ、國稅納稅者等ニシテ損害ヲ受ケタモノ少クナイノデアリマス、即チ家屋ノ倒潰、火災其他營業品ノ、營業用ノ商品、原料品ノ毀損シタル等ノ爲ニ、租税ノ負擔力ノ減殺セラレタルモノガアルコトハ中スマデモナイコトデアリマス、納稅者ノ負擔力ノ減殺セラレタル場合ハ、救済方法ニ關シテハ、現行法中ニモ全然其規定ガナイ譯デアリマセヌカ、震災ノ如キ非常災害ニ對應スル方法ト致シマシテハ十分デナイ憾ガアリマシテ、從來モ租税ノ減免及ビ徵收猶豫等ニ付テ、特ニ救済ノ方法ヲ講ジタコトガアルノデアリマスガ、今回モ亦特別ニ之ガ

救済ノ方法ヲ講ズルノ必要ヲ認メマシタノデ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナイト存ジマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕
震災被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案特別委員
公爵鷹司 信輔君 伯爵奥平 昌恭君
子爵梅小路 定行君 男爵松尾 義夫君
石渡 敏一君 馬場 鎮一君
加藤政之助君 尾崎元次郎君
上郎 清助君

○議長(公爵德川家達君) 國務大臣ノ演說ニ關スル件、第十四日ハ井上男爵

○男爵井上清純君 總理大臣代理ニ御尋ネスルノデアリマス、過日本會議ノ冒頭ニ於キマシテ、幣原男爵ガ「カスル」氏ト御談話ヲ、一節ヲ取リマシテ、同男爵ノ民族精神、竝ニ國家觀念ニ付テノ疑惑ヲ挿シタモノデアリマス、此疑惑ヲ其儘ニシテ、本日同男爵ハ總理大臣代理トサレテ、國政ヲ變理サレル位置ニ立タレテ居ルコトニ對シテ、國政ヲ審議スル上ニ於テ支障ヲ來スモノト心得マシテ、議事進行ニ關シマシテ御質問ヲ發シタノデアリマス、併ナガラ議事進行ノ範圍内ニ於キマシテ、御尋ヲ致シマシタノデアリマス、十分ニ其意ヲ盡スコトガ出來マセヌデ、茲ニ補足的ノ御尋ヲシナケレバナラヌ次第ニナツタノデアリマス、幣原總理大臣代理ハ斯カル言葉ヲ用ヒタコトハナイト云フ御否定ガアツタノデアリマス、私ハ誠ニ國家ノ爲ニ此御言葉ヲ聽キマシテ、喜ビ且ツ慶シタノデアリマス、併ナガラ私ガ斯カル質問ヲ發シマシタコトハ、世上ノ流言蜚語ヲ土臺ニシマシテ、御問ヲシタノデハナイノデアリマス、昨年七月十一日、

只今ノ國務次官デアル所ノ「ウキリアム・カスル」氏ハ市俄古ノ「ユニオンリーグ」俱樂部ニ於テ演說ヲサレテ居ルノデアリマス、其演說ノ一節ニ、米國ノ人士ノ中ニハ、一部ニハ、日本ガ比律賓島ヲ占領スルヤウナコトヲ言フヤウナガアルケレドモ、サウ云フコトハ全然杞憂ナモノデアアル、現ニ自分ハ日本ノ外務大臣幣原男爵ニ御會ヒシタ時ニ、同男爵ハ自分ニ、ヨリ大ナル國トノ戰ヒハ、結局日本ノ破滅ニナルカモ知レナイト云フヤウナコトヲ申サレタト云フコトガ、亞米利加ノ新聞ヲ通シテ世界ニ傳ハタノデアリマス、我新聞聯合社ノ特電ニ依リマシテ、七月十三日ノ「アドヴァータイザー」米國ノ機關新聞トモ言ハレルベキ所ノ「ジャパン・アドヴァータイザー」ニ、第一頁ニ其事ガ轉傳サレテ載テ居ルノデアリマス、「バロンケー」シデハラ ジャパン・ニース・ミニスター フォア フォーレン・アッフェアーズ アズ セイイグ ザット ア ウキズ アメイジニア パワーマイト ミーン ザ イヴエンチュアル ルイン オブ ジャパン」又同日ノ朝日新聞ニハ、日本ノ信義高唱ト題シマシテ、日本ガ比律賓ヲ占領スベシナドノ說ハ、一笑タニモ値セヌトテ、幣原外相ガ親シク同氏ニ對シ「戰爭ハ結局日本ヲ破綻ニ導クモノダ」ト語ツタト云フコトガ載テ居ルノデアリマス、此新聞聯合通信社ハ、米國ノ有力ニシテ權威アル通信社ト、聯絡ヲ取テ居ルノデアリマス、此通信ハ相當ニ權威ヲ持テ居ルモノト、私共ハ認メナイ譯ニハ參ラス、其上ニ此大新聞ノ特電ハ、何レノ方面カラモ正誤取消モ出デ居リマセヌ、即チ事實ト認ムルノ外ハナイノデアリマス、併ナガラ外務大臣ハソナコトハ言ハヌ、自分ハ苟モ外交ノ當局者トシテ、斯様ナル無益ナル、斯様ナル不必要ナルコトヲ言フタコトハ全然ナイト云フコトヲ仰セラレテ居リマス、然ラバ米國大使ハ、直接ニハ幣

原男爵、間接ニハ日本國民ヲ侮辱スルカノ如キ、作リ事ヲ演説シタト云フコトニナルノデゴザイマス、外務大臣ハ此結論通り、我ニ於テ認定シテ差支ナイモノデアルト仰セラルノデアリマセウカ、私ハ斯カルコトハ或ハ通信ノ誤リデハナイカト思フノデアリマス、此市俄古電報ヲ掲載スル所ノ「アドヴァータイザ」ナドノ記事ハ、明カニ日本ト、日本國民ヲ以テ護國ノ精神ナキ廢國國民デアルト云フコトヲ書キ現ハシタモノデアリマシテ、國家ノ名譽上打捨テ難キ侮辱デアルト考ヘルノデアリマス、外務大臣御自身モ、如何ニモ義勇盡國ノ精神ガ何タルヤモ解セザル如キ人物デアルカノ如クニ描カレテ居ルノデアリマス、然ルニ倫敦會議ノ始終ヲ通ジマシテ、我ガ外務省ハ軍縮問題ニ少シデモ關係アル一切ノ通信記事、言論等ニ對シマシテハ、實ニ神經過敏トモ見ラレル程ニ周到ノ取締ヲサレ、又ソレゾレ言譯ヲサレテ居ラレルノデアリマス、例ヘバ同訓案前ニ於キマシテ、英米カラ壓迫ノ事項ガ……事柄ガアツト云フ記事ガ出マシタ當時モ、外務省ハ之ニ對シテ「コムミ」ニケラ出シテ居ラレマス、然ルニ此國家ノ面目、國民ノ精神ニ對スル重大ノ侮辱の記事ヲ其儘ニサレテ、今迄打遣テ置イタト云フハ一體何事デアリマスカ、是ハ千慮ノ一失デアラウカト思ヒマス、ソレ等ノ職務ガ怠慢デアツト申サナケレバナラヌト思ヒマス、併ナガラ、斯ウ云フ事實ハ言ハナカッタ仰セラレノデアリマス、私ハ是レ以上ニ敢テ追究ヲ致サヌノデアリマス、唯一體外務大臣ノ第一義ト云フモノハ何カト云フト、第一ノ任務ト云フモノハ、國家ノ名譽威嚴ノ擁護デアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ大事ナ任務ニ對シテ職責ヲ空ウシタ科ハ免レ

ナイト私ハ認定スルノデアリマス、此認定ヲ以チマシテ、斯カル不快ノ問答ハ打切りタイト考ヘマス、次ニ伺フテ置キタイコトハ、昨日海軍大臣トノ問答ノコトニ付テデアリマス、私ハ安保國務大臣ニ對シマシテ、衆議院ニ於ケル所ノ御演説ヲ引キマシテ、國務機關デアル所ノ海軍大臣、帷幄機關デアル所ノ軍令部長トノ間ニ於テ、兵力量ノ決定ニ關シテハ從來如何ナル慣行ガアルカト云フコトヲ質シタノデアリマス、海軍大臣ハ兵力量ノ決定ニ當テ、海軍大臣ト軍令部長ト意見一致タルベキコトデアルト云フ、斯ウ云フ慣行ヲ明カニ此席上デ以テ御述べニナタノデアリマス、幣原國務大臣ハ此安保國務大臣ノ御言明ニマサカ異タル御見解ハ御持チニナラナイグラウト思ヒマス、此、此事ハ國民ニ授ケラレタル所ノ大キナ疑惑デアリマシテ、又何百何十萬ト居ル所ノ我軍人ノ不安ニ感ジテ居ル所デアリマスカラ、改メテ茲ニ御尋ラスルノデアリマス、果シテ安保國務大臣ノ言明セラレタ通りニ、幣原國務大臣ハ御認メナサルノデアリマスカ、此席上カラ是ダケノコトヲ言明ヲ願ヒマスレバ、私ハ其以上ノコトヲ求メル者デハアリマセヌ

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今井上男爵ハ第一「カスル」氏ト私トノ會談ノ要點ニ關シテ御述べ「ナリマシテ、私ガ其會談ノ中ニ、日本ガヨリ大ナル國ト戰爭ヲスルナラバ、日本ノ破滅デアルト云フコトヲ中シタ、其趣旨「カスル」氏ガ市俄古デ以テ演説イタシテ居ルト云フコトデアツタノデアリマス、「カスル」氏ハ亞米利加ニ歸リマシテ、各地方ニ於テ日本ニ關係スル問題ニ付テ演説イタシテ居ラレマス、是等ノ演説ヲ悉ク讀ンデ見マスルト云フト、日本ノ事情ニ對シテハ最モ同情的理解ヲ持ッテ居ル一人デアルト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、此人ガ、斯ノ如キ、私ノ言ッテ言葉ヲ、誤解イタシテ演説イタシタト云フコトハ、私ハ有リヤウハナイト考ヘルノデアリマス、新聞紙ガ如何ニ傳ヘタカ分リマセヌケレドモ、餘リニ荒唐無稽デアルト考ヘルノデアリマス、私ハ「カスル」氏ガ、斯カル言葉ヲ用ヒタト考ヘラレマセヌ、固ヨリ比律賓問題ニ付キマシテモ、總テノ問題ニ付キマシテモ、日本ハ侵略主義ヲ有シテ居ナイト云フコトハ、私ハ度々申シタノデアリマス、是ハ「カスル」氏ノミナラズ、總テ私ノ接觸スル人ハ能ク諒解下サツテ居ルグラウト考ヘマス、侵略政策ヲ執ルモノデハナイ、併ナガラ日本ガ大キナ國ト戰爭スレバ日本ノ破滅デアル、斯様ナコトヲ言フベキ氣遣ヒハナイノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、私ガ過日井上男爵ノ御質疑ニ御答イタシタ通りデアリマシテ、私ハ絶對ニ左様ナコトヲ「カスル」氏ト話シタコトハナイト云フコトヲ茲ニ明言イタスノデアリマス、此點ハ十分ニ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、新聞紙ニ如何ナルコトガ傳ヘラレマシテモ、餘リニ荒唐無稽デアリマシテ、心アル人ハ其荒唐無稽ナルコトヲ十分ニ諒解スルデアラウト、私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ニ付キマシテ、安保海軍大臣ガ昨日當議場ニ於テ、條約上ノ兵力量ヲ決定スル場合ニハ、海軍大臣ト軍令部長トノ間ニ意見一致アルベキコトト云フ趣意ヲ答ヘラレタト云フコトヲ御述べニナタノデアリマス、安保海軍大臣ノ述べラレマシタコトハ、私ハ固ヨリ十分ニ之ヲ承認スル次第デアリマス

○男爵井上清純君 只今幣原總理臨時代理カラ、此今マデ事實上ニ於テ解決サレテ居タト認メマス、ドウモ其中ニ一種ノ不安ガ漂ッテ居、此統帥權ノ問題ガ、只今ノ御答辯ニ依リマシテ悉ク解決シタモノダト自分ハ考ヘマス、此事ハ誠ニ國家ノ爲ニ慶賀ニ堪ヘナイノデアリマシテ、深ク今

ノ御答辯ヲ感謝スル次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りト致シマス

○議長(公爵德川家達君) 此次ハ藤澤利喜太郎君ニ發言ヲ許サゲザイマスガ、藤澤君ハ大藏大臣ガ出席セラレタコトハ御質疑ヲ御見合セニナリマス、本日ハ大藏大臣ハ衆議院ニ出席ノ都合デ、本院ニハ出席ガ不可能ノ趣キデゴザイマスガ、藤澤君ニ伺ヒマスガ、大藏大臣ノ出席ヲ御待チニナリマス

○藤澤利喜太郎君 大藏大臣ハ本日午後モ……

○議長(公爵德川家達君) 大藏大臣ハ今日兩日共衆議院ニ出ラレル趣キデ、出席ハ大分ムツカシイト考ヘマス

○藤澤利喜太郎君 國務大臣ハ總理大臣代理御一方ノヤウデアリマス、マダドナタカ國務大臣ガ御見エニナリマセウカ

○議長(公爵德川家達君) 大藏大臣ノ外ニ國務大臣ノ出席ヲ要求セラレルト議長ハ考ヘテ宜シウゴザイマス

○藤澤利喜太郎君 先日、事ハ……御質問イタシタイト存ジマスコトハ、文部大臣及商工大臣ニモ、多少御關係ガアリマスカラ、成ルベクナラバ御出席ヲ願ヒタイト、先日申上ゲタ譯デアリマスガ、文部大臣及商工大臣ハ如何デスカ、若シ大藏大臣ガ非常ニ忙シイコトデアリマスレバ、他ノソレ等御關係ノ大臣ノ御出席ニ依リマシテ、折角ノ順デゴザイマスカラ、此際登壇ノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 藤澤君ノ只今御申述ベノコトハ委細拜承イタシマシタ、只今出席セラレラルヤ否ヤ問合セテ致シマセウ

○藤澤利喜太郎君 時間ノ空費モ甚ダ恐入ル次第デアリマス、總理大臣代理ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、御登壇ヲ御許シヲ願ヒタウゴザイマス……登壇ヲ……

○議長(公爵德川家達君) 只今藤澤君ガ御述ベニナリマシタコトハ幣原國務大臣ガ出

形セラレテ居ルカラ登壇ヲ致サウト云フ御
言葉ト伺フニ宜シウゴザイマス

○藤澤利喜太郎君 左様ゴザイマス

○議長公爵徳川家達君 然ラバ藤澤君ノ
發言ヲ許シマス

〔副議長公爵近衛文麿君議長席ニ著ク〕
〔藤澤利喜太郎君演壇ニ登ル〕

○藤澤利喜太郎君 去ヌル一月二十二日ノ
内閣總理大臣臨時代理ガ當議場ニ於テ御陳
述ニナリマシタコトハ、目下應急ノ施設ニ
對スル施政ノ御方針ノヤウニ拜聴イタシタ
ノデアリマス、私ハ一步根本的ニ邁リマシ
テノ御方針ヲ伺ヒタイノデアリマス、實ハ
去ヌル五十七議會ニ於テ同ジコトヲ質問イ
タシタイト思ヒマシテ、通告ヲ致シテ置イ
タノデアリマス、ガ衆議院ノ解散ノ爲ニ其
機會ヲ失ヒマシテ、延ビ延ビ今日ニ至リタ
第デアリマス、第五十八特別議會ニ於キマ
シテハ會期ガ短クアリマシタカラ質問ヲ差
控ヘタノデアリマス、併シ追加豫算案ノ本
會議上程ニ際シ、昨年ノ五月十三日當議場
ニ於キマシテ大藏大臣ガ或質問ニ對シテ御
答セラレテ居ルノデアリマス、ソレガ私
ノ今日ノ質問ニ關係ガアルノデアリマス、
ソレ故ニ成ルベクナラバ大藏大臣ノ御出席
ヲ希望シタイ次第デアアルノデアリマス、是
ハ今日御出席ニナラデ居リマス國務大臣カ
テ大藏大臣ニ御傳ヘテ願ヒマシテ、且又大
藏大臣ニ於テ十分ニ速記録ニ付テ御覽ヲ願
ヒタイ次第デアアルノデアリマス、事新シク
申ス迄モナイコトデアリマスガ、明治大帝
ノ五箇條ノ御誓文ノ一節ニ知識ヲ世界ニ
表メ皇基ヲ振起スヘシト仰セラレ、其御趣
意カラ致シマシテ開國進取ノ國是ト云フモ
ノガ定マタノデアリマス、其後長久間ニハ
一モ西洋、二ニモ三ニモ西洋ト云フヤウナ
西洋崇拜熱ガ昂ジマシテ、其反動ト云フヤ
ウナコトモ起リタノデアリマスガ、總テガ過
去ノ歴史トナリマシタ、今日カラ達觀シテ
見マスレバ、明治維新ヨリ今日ニ至ル過去

五六十年間ハ、開國進取ノ國是ハ終始一貫
シテ變ラナカッタノデアリマス、サウシテ
明治大帝ノ御稜威ノ下ニ我が國運ガ發展イ
タシマシテ、列國間ニ於ケル我が國現在ノ地
位ヲ獲得スルニ至リタノデアリマス、明治維
新ノ直前ニ於テ高野長英、吉田松陰ト云フ
ヤウナ志士、先覺者ガ膽氣ナガラサウ云フ
コトニナラナケレバナラナイト云フコトヲ
感ジマシテ、死生ノ間ヲ馳驅シテ、サウ云
フ機運ノ促進ニ絶大ノ努力ヲ拂ヒマシタコ
トハ非常ノ達見デアリ、又我々日本國民ノ
感謝ニ値スル次第デアリマス、惜テ今日ト
ナリマシテハ開國進取ノ國是ニ依リマシテ、
進歩シ發達シ得ル限リハ、既ニ進歩發達シ
盡シタカノヤウニ思ハレマス、輒近我國ノ
言論界ニ於テ、我國ハ各方面ニ於テ行詰リ、邦
家ノ前途誠ニ寒心スベキモノガアルト憂慮
セラレ、論議セラルルノハ、此事實ヲ正視
直言シタモノデアリマス、列國間ノ競争激
烈ナル今日、進マナイト云フコトハ退歩ヲ
意味スルノデアリマス、ソレ故ニ我々ハ茲
ニ新ナル國策ヲ樹テ、開國進取ノ國是ニ代
ハルベキ新ナル國是ニ依リ、國運ノ發展
向上ヲ圖ラナケレバナラナイ、サウ云フ重
大ナル時機ニ直面シテ居ルノデアリマス、
今上陛下御踐祚ノ直後、昭和元年十二月二
十八日、朝見式勅語ノ中ニ於テ「模範ヲ戒メ
創造ヲ勵メ……」模範ヲ戒メ創造ヲ勵メ
ト仰セラレテアリマス、模範ヲ戒メ創造ヲ
勵メ、私ハ幾度カ拜讀イタシマシテ、感激
措ク能ハザルト同時ニ、今日ノ行詰リヲ打
開シ、我が國運ヲ開拓スル進路ニ一ツノ光
明ヲ發見イタシマシタヤウナ感ジガ致シタ
ノデアリマス、學術ノ輸入ヲ事トシマシタ
時代ハ既ニ去リテ、今日ハ我國自身ニ於ケル
學術ノ研究、殊ニ獨創的研究ヲ以テ國策ノ
根幹トシタテハナラナイト、私ハ固ク信
ジテ疑ハナイノデアリマス、恰モ明治時代
ニ於キマシテハ開國進取ノ長ヲ採テ我
ノ短ヲ補フト云フコトガ、我國ノ國是デア

リマシタヤウニ、昭和ノ御代ニ於キマシテ
ハ、一ニモ學術ノ研究、二ニモ三ニモ學術
ノ研究ト云フコトヲ以テ、我が國是トシタ
タテハナラナイト、私ハ切實ニ感ズル者デ
アリマス、明治大正ノ時代ヲ通ジテ、我國
ノ學術ガ或程度ノ發達ヲ致シマシテ、産業
ノ開發、國防ノ安固ニ資スルコト顯著ナ
ルモノノアツタコトハ申スマデモナイコト
デアリマス、ソレハ實ニ我が國民ノ自覺ト、
其當時ノ爲政者ノ卓見ノ賜モノデアリマ
ス、無線電信ハ日露戰役ノ直前ニ發明セラ
レタノデアリマスガ、其當時我國ノ學術研
究ハ、直捷ソレヲ利用シ得ル程度ニ發達シ
テ居タノデアリマス、サウシテソレガ我が
戰勝ニ如何ニ寄與シタカハ世間周知ノ事實
デアリマス、明治初年ノ猪苗代ノ疏水工事、
ソレハ和蘭ノ土木技師ノ「ドルン」今「カ
イゼル」ガ配所ノ月ヲ眺メテ居リマスル地
名ト同ジ綴リデアリマス、「ドルン」ト云フ
技師ノ監督ノ下ニ出來マシテ、サウシテ大
キナ水田ガ出來タノデアリマス、此人ガ猪
苗代ヲ去ルニ當リマシテ、當面ノ必要ハナ
イガ、猪苗代湖水ノ水面ノ上リ下リヲ毎日
觀測シ、ソレヲ長ク繼續スルコトヲ固ク言
ヒ置イタノデアリマス、サウシテ此觀測ガ
數十年間、風ガ吹イデモ、雪ガ降デモ、克
明ニ繼續セラレタノデアリマス、勿論大シ
ク費用ハ掛カル譯デモナイノデアリマスガ、
長イ間ニハ福島縣廳ナリ、郡役所ナリニ於
テ、經費ノ節約ト云フヤウナコトモアツタ
ウト思ハレノデアリマス、然ルニ此閑日
月のノ事ノヤウニ見エル觀測ガ、間斷ナシ
ニ能クモ繼續セラレタノデアリマス、其後
星移リ物變リ水力電氣物與ノ機運ニ際會シ
マシテ、猪苗代湖水力ガ直捷利用セラレ
ルコトガ出來マシタノハ、全ク此觀測ノ記
録ノ賜モノデアリマス、又明治モマダウラ
若キ頃ニハ、我國ノ鐵道ト云フモノハ、外
國ノ技術ニ依リマシテ出來マシタ京濱間ト
阪神間ノ見本ヨリ外ハナカッタノデアリマ

ス、ソコデ今日カラ見マスルト、途方モナ
イヤウナコトデアリマスガ、其當時大學ニ
於キマシテ、鐵道建設ノ技術ヲ教フルコト
ハ不必要デアルト、サウ云フ遠方モナイ議
論ガ出タノデアリマス、經費ノ節減ガ何カ
ノ爲ニ寧ロ一時中止スルガ宜イト云フコト
ガ眞面目ニ、今日カラ見マスルト嘘ノヤウ
ナ語デアリマスガ、眞面目ニ主張セラレタ
デアリマス、併シ其當時ノ當局者ハモンナ
コトニ耳ヲ假サナカッタノデアリマス、其後
鐵道建設ノ機運ガ勃興シマシテ、我國ノ鐵
道ガ我が國人ニ依リテ建設セラレタノデア
リマス、思フニ一國ノ鐵道ガ當該國人ニ依
テ建設セラレマシタノハ、歐米以外ニハ我
國ヨリ外ニナイト思ハレマス、最近我國ノ
鐵道技術ガ勞農譯西亞、波斯等ニ於テ優
秀ナル成績ヲ發揮シテ居ルコトヲ聞キマ
シテ、私ハ坐ロニ當年ノ爲政者ノ卓見ニ敬
服スル次第デアリマス、明治時代ニ於キ
マシテモ極度ノ財政難ハ幾度カ有タノデア
リマス、明治十年西南戰役後ノ財政難ハ、
是ハ一番能ク記憶ニ殘テ居ルカト思ハレ
マスガ、其前ニモ明治六年ハ是ハ開年デア
リマシタ、太陰曆ハ開年ニハ月ガ一箇月
殖エルノデス、其當時ノ財政ガ非常ニ逼迫
シテ居リマシテ、團月分ノ俸給ヲ支拂フコ
トガ出來ナイ、改曆ト云フコトハ何レニシ
テモ早晩行ハレナカテハナラナイコトデハ
アリマスガ、極度ノ財政難ガ殊ニ其期ヲ早
マシテ、明治五年ノ末ニ押詰テ、翌年カ
ラ太陽曆ヲ用ウルコトニナッタノデアリマ
ス、サウ云フコトガ言傳ヘテレテ居リマス、
斯様ナ次第デアリマシテ度々國庫ノ窮乏ニ
際會シマシテモ、其當時ノ爲政者ノ開國進
取ノ國是ニ對スル信念ニハ、牢乎トシテ拔
クベカラザルモノガアリマシテ、苦シイ中
デモ、此國是ヲ貫徹スル爲メノ費用ハ吝マ
レナカッタノデアリマス、其當時ハ先以テ泰
西ノ學問技術ヲ我國ニ移植シナクテハナラ
ナイ、其爲ニハ我國有爲ノ青年ヲ外國ハ留

學セシメ、優秀ナル外國ノ學者技術者ヲ拊
達ニシテ、高イ俸給ヲ以テ、我國ニ招聘セラレ
タノデアリマス、サウ云フ目的ノ費用ハ、
隨分無理算段ヲシテモ支出セラレタノデア
リマス、又幸ノ事ニハ、其當時我國ニ來タ
ラシメタル外國人ノ學者ノ中ニハ、專門技
術ヲ教フルノ傍ラ、我國ノ青年ノ間ニ學術
研究ノ精神ヲ鼓吹スルコトヲ努メラレタ人
モ少クナカッタノデアリマス、今尙ホ存命デ
老後「ケンブリッヂ」ニ養ヒテ居リマス「イ
ウイング」博士ヤ、先年故人トナラシマス
「アイアリス」教授ノ如キハ、其典型的ノ
例デアリマス、我國學術研究ノ現狀ハ歐米
ノソレニ比シテ、遜色アルハ遺憾ナガラ事
實デアリマスガ、ソレニ致シマスモ、兎
ニ角現狀ニマデ發達イタシマスノハ、明
治時代ノ爲政者ガ何事ヲ措イテモ、開國進
取ノ國是ニ忠ナラマコトヲ心掛ケラレマシ
タ其賜モ何デアリマス、現時ノ深刻ナル不
景氣ノレガ何時立直ルカハハキリシタコト
ハ何人ニモ分ラナイト云フノガ本當デアリ
マス、從來ノ不景氣ノ歴史ヲ見マス、今
度ガ底入デアアル、今度ガ底入デアアルト云
フヤウコトガ、數回繰返サレマシテ、又カ
ト云フヤウナ時ニ、本當ノ底ガ叩カレマシ
テ、景氣ガ徐々ニ回復スルノデアリマス、
又私ノ貧弱ナル歴史ノ知識ノ範圍ニ於キ
マシテハ、今日ノ如キ不景氣ニ際シテ、何
カ人爲ノコトヲ致シマシテ成功シタ例シ
ハ當テナイノデアリマス、ノミナラズ動モ
スレバ禍根ヲ將來ニ貽スノデアリマス、今
回ノ不景氣ノ原因ニ付テハ、色々ノ説ガ唱
ヘラレテ居リマスガ、達觀シマスレバ歐洲
大戰ノ餘波デアアル、此不景氣ガサウ急ニ立
直ラウトハドウシテモ思ハレマセス、兎ニ
角ニ財界ノ不況從テ財政ノ不如意ハ當分
續クモノトシテ置ク方ガ安全第一ノ見方デ
アリマス、惜デ現今ノ不景氣時代ニ見方デ
財政策ハ、整理緊縮ノ定石ノ軌道ヲ踏ムヨ
リ外ニ途ガナイト思ハレマス、此際技巧ヲ
弄スルコトノ不可ナルハ、昨日今日ノ臺灣
ノ事態ガ論ヨリ證據面ノアタリ明カニ示シ
テ居リマス、要スルニ不景氣退治ノ萬能膏
ハナイノデアリマス、國民ハ此トコロ艱難
辛苦ヲ忍バナケレバナラナイト思ハレマス

ス、唯其艱難辛苦ガ廣ク社會ノ各層、各階
級ニ平等ニ公平ニ分配セラレタナラハナリ
イ、ソコニ當局爲政者ノ苦心ガアラネバナ
ラヌト思フノデアリマス、俗ニ無理ナ儉約
スルガ儉約ト云フコトガアリマス、ドウシ
テモ節約ニハ無理ガ伴フモノデアリマス、
此點ニ於キマシテハ私ハ當局者ノ慘憺タル
御苦心ニ對シテ、滿腔ノ敬意ヲ表スル者デ
アリマス、併シ茲ニドウシテモ節約スル國
民ノ出來ナイモノハ、生活線上ニアル國民
救済ノ應急ノ施設ニ要スル經費ト、ソレカ
ラソレト相並ンデ必要デアリ、且又中斷ヲ
許サザル學術研究ノ振興ノ爲ニ要スル費用
デアアルト私ハ信ジマス、前者ハ對症療法的
施設ニ要スル經費デアリ、後者ハ不況ヲ永
遠ニ救済シ、若クハ將來ノ不景氣ノ襲來ヲ
豫防スル根本療法的施設ニ要スル經費、根
本的治療ハ動モスレバ應リ勝チニナルノ
人間ノ弱點デアリマス、脊ニ腹ハカヘラレ
ナイト云フヤウナ場合ニハ、即時直グ様效
果ヲ現ハレナイ學術研究ノ振興ト云フ如キ
ハ兎角閑却サレ易イノデアリマス、是ハド
ウ致シマシテモ當局爲政者ノ學術研究ニ對
スル理解ト共鳴トヲ喚起シタケハナラナ
イノデアリマス、昭和維新ノ國ニハ模範ヲ
戒メ、創造ヲ努メ、一ニモ學術研究、二ニ
モ三ニモ學術研究デナクテハナラナイト私
ハ堅ク信ジテ居リマス、勿論此兩者ノ
是ニ對スル當局爲政者ノ信念ニ訴フルヨリ
外ニ途ガナイノデアリマス、學術研究ノ振
興ト云フコトハ、煎詰メマスレバ獨創的
研究ノ能力アル人材ノ養成ト、研究ニ要ス
ル資金ノ供給トデアリマス、勿論此兩者ノ
間ニハ相互ニ密接ナル關係ノアルコトハ
申スマデモナイ、研究費ガ何トカ都合サレ
マシテ研究ガ盛ンニ行ハレマスレバ、研究
者ノ養成ニ非常ニ便宜デアリマス、又現在
ノ我國ニ於キマシテモ、研究養成ノ機關ハ
形ダケハ略々備ハテ居ルノデアリマス、唯
研究費ノ甚シキ不足ノ爲ニ是等ノ機關ガ有
效ノ働きナシ得ナイノデアリマス、又我
國民ノ中ニハ立派ナ研究者トナル素質ヲ
持テ居ル青年ガ、不足ナク存在シテ居ルコ
トニ付キマシテハ、我々ハ深キ自信ヲ有ス

ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカ
ラ、私ハ今日ハ主トシテ此研究費ノコトニ
付テ申上ゲタイノデアリマス、研究費ト申
シマシテモ軍事費トカ、土木費トカ云フモ
ノニ比ベマシテハ、全然桁違ヒノ少額デ足
リルノデアリマス、其研究費ノコトデ質問
ヲ致シタイノデアリマスガ、私ノ質問ノ意
味ヲ明カニスルガ爲ニ、外國ノ例ヲ引用シ
タイノデアリマス、多岐ニ互ルヲ避ケムガ
爲ニ、獨逸ノ二國ニ限ルコトヲ致シマシテ、
又金高ヲ申上ゲマス時ニハ二馬克ハ一圓
一磅ハ十圓ト致シマシテ、總テ圓單位ノ金
高ヲ申上ゲルコトニ致シマス、獨逸ハ戰
ハ負ケタノデアリマス、併シ殆ド全世界ヲ
向フニ廻シテアレダケ長イ間能ク戰ヒマシ
タノハ、眞ニ人類歷史上ノ偉觀デアリマス、
ソレハ勿論獨逸民族ノ堅忍不拔ノ精神ガ然
ラシメタノデアリマスガ、一面カラ見マス
レバ獨逸ノ學術ガ世界ヲ相手トシテ能ク拮
抗シ得タノデアリマス、戰爭ガ始リマス、
獨逸ハ直グ封鎖サレシマシテ、物資ヲ
海外ヨリ得ルコトガ殆ド不可能ニナッタノ
デアリマス、戰爭ノ直前ニ出來マシタ「ハ
ベル」教授ノ空中窒素ノ固定、即チ「アム
モニア」合成ノ研究ハ、智利硝石ノ輸入ヲ不
要ナラシメタノデアリマス、是ハ廣ク世ニ
知ラレテ居ルコトデアリマス、戰時中、綿火藥
ノ原料ニ要スル綿ノ輸入ガ杜絶シマシタ時
ニ、獨逸ノ學術研究ハ木材カラ綿ト全ク同
ジ效用ヲ爲ス物質ヲ造ルコトニ成功シマシ
タ、又軍需品ニ限ラズ、食料品ナドニ致シマ
シテモ、其輸入ガ杜絶シマシタ時ニ、獨逸ノ
學術研究ハソレゾレ代用品ヲ供給シテ居リ
マス、華ニシヨコトニ於キマシテハ戰爭ノ
方ガ世界ノ耳目ヲ聳動シタノデアリマス
ガ、人類ガドレダケ其能力ヲ發揮シ得ルカ
ト云フ點カラ觀察イテ其能力ヲ發揮シ得ル
ニ於テハ獨逸學術ノ活躍コトヲ戰争其モヨ
リモ遙ニ雄大ナル偉觀デアッタノデアリマ
ス、由來獨逸ハ兵力ト學術トヲ以テ立國ノ
根幹トシテ居タノデアリマス、軍隊ト學術
トハ獨逸ト云フ大伽藍ヲ支フル二ツノ大黒
柱デアリマス、軍隊ノ方ノ柱ハ倒レタガ、
學術ノ方ノ柱ハ泰然トシテ世界ヲ睥睨シテ

居ル、片方ノ柱ガ倒レタケソレダケ殘レ
ル學術ノ方ノ柱ヲ太ク強カラシメナケレバ
ナラナイト云フノガ、戰後ノ獨逸國民ノ意
氣デアリ抱負デアアルノデアリマス、獨逸ノ
爲ニハ屈辱的ノ講和條約ガ締結セラレマ
シタノハ、千九百十九年ノ四月デアリマス、
サウシマス直グ其翌月ノ五月二十九日ノ
日蝕皆既ノ觀測ニ依リマシテ、千九百五年
ニ「アイニシタイン」ガ發見シマシタ遠大ノ
學理ガ實地ニ證明セラレ、斯クテ獨逸ノ學
術ガ近來稀ニ見ル大々的勝利ヲ博シタノデ
アリマス、千八百七十年ノ戰爭ノ直後ニ佛
蘭西ニ於キマシテモ、人類ニ幸福スル「ハ
ッセル」ノ大發見ガアリマシタ、發見ノ種
類、性質ハ全ク違フテ居リマスガ、面白イ對
象デアリマス、只今述ベマシタ日蝕皆既ノ
觀測、ソレハ如何ニモ實用ニ縁遠イモノ
ヤウニ見エルカモ知ラセマスガ、總テ發見
發明ト云フモノハ其端緒ヲ得ルノガムツカ
シイノデアリマス、飛行船用ノ「ヘリウ
ム」瓦斯、特ニ昨年ノ英國ノ「アール」百一號
遭難以來、飛行船ノ爲ニハ無クテハナラヌ
トセラルル所ノ不燃瓦斯「ヘリウム」、其
發見ノ端緒ガ日蝕皆既ノ「スベリウム」觀測
ニ付タリ、誠ニ面白イ教訓デアリマス
ニ、戰後ヨリ今日ニ至リマス僅カ十年餘リ
ニ過ギナイ間ニ、獨逸ノ學術研究ガ目覺マ
シイ活躍ヲシマシタ、其素晴シイ成績ハ驚
嘆ニ値スルノデアリマス、直捷世界的ノ感
動ヲ與ヘマシタモノハ、昨年我國ニモ參
「エッケナ」博士ヲ超「ツエーベリン」飛行船、
又今日此頃大西洋ヲ橫斷中ノ「ドックス」水
上飛行艇、ソレカラ各國海軍ニ謎ヲ與ヘテ
居リマス「ボツケ」戰艦、又獨逸戰前ノ
優秀船ハ悉ク沒收セラレマシタガ、其後ニ
出來マシタ獨逸ノ商船ノ中ニハ、世界中ニ於
テ最モ優秀ナモノガアリマス「スピード」ノ
獨逸「ブレイメン」號ガ「スピード」ノ「レ
コード」ヲ破リ、其又「レコード」ヲ獨逸ノ新
造船「オキッパ」ガ破ッテ居リマス、サウシ
テソレ等ハ總テ吾人ノ目ノ前ニ展開サレツ
ツアル所ノ獨逸學術研究ノ勝利デアリマ
ス、日尙ホ淺クシテ未ダ世間一般ノ視聽ニ

獨逸ノ學術研究ニハ、更ニ一層驚クベキ大發見、大發明ガ潛シテ居リマス、世界ノ石油消費高ハ戰前ニ比シテ今日ハ約三倍ニナリテ居リマス、サウシテ世界各國ハ恰モ石油ノ爭奪戰ニ關聯シテ居ルヤウナ現狀デアリマス、此際ニ於キマシテ最近獨逸ハイデラベルヒ「ベルギウス」氏ハ攝氏ノ四百度カラ五百度ノ間ニ於テ壓搾シテ水素ヲ使ヒマシテ、完全ニ石炭ヲ石油ニ化スル大發明ニ成功シマシタ、此同ジ「ベルギウス」氏ハ現今ハ纖維素「セルロース」カラ人造石炭ヲ造ル研究ニ從事シテ居ルノデアリマス、阿弗利加ニ於テ既ニ數百萬ノ人命ヲ奪ヒマシタ怖ルベキ睡眠病、ソレハ同大陸ノ可ナリ大キナ部分ヲ、人間ノ居住ニ適セザル荒地トナラシメタノデアリマス、然ルニ我ガ不斷熱サマシニ使ヒマス「アスピリン」ヲ發明シマシタ獨逸ノ染料製造所ニ於テ、數年開研究ノ結果、千九百二十一年ニ睡眠病ノ特效藥「ゲルマニン」ト云フ新藥ヲ發見シタノデアリマス、ソコデ英國ノ或ル學者ハ斯ウ云フコトヲ言フテ居リマス、ソレハ此「ゲルマニン」ノ發明ガ戰爭ニ勝テ聯合軍側ヲ利シタコトハ、經濟的ニ見テモ獨逸ガ拂フ賠償金ノ總高ヨリモ遙カニ多イ言フテ居ルノデアリマス、硫酸「アムモニア」昨今、日々ノ新聞紙上ヲ賑ハシテ居リマス、確安ノ空中窒素固定製造法ハ、前ニ述ベマシタヤウニ一番最初ニ獨逸デ發見セラレタノデアリマス、「ハーベルボッシュ」法ガソレデアリマス、其後佛、伊、米等ノ國ミニ於キマシテ種々ノ製法ガ發見セラレタノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ其根本原理ハ獨逸製法ト變リハナイノデアリマス、今日デハ確安ハ方々ノ國デ出來ノデアリマス、近著ノ外國雜誌ニ十八ヶ國ノ確安產出高ノ表ガ載テ居リマシタガ、相當ノ產出高ヲ有スル我國ガ其中ニ漏レテ居ルノヲ見マシテモ、此表ニハ多分ノ漏レノアルコトガ分ルノデアリマス、世界ニ於ケル確安產出高ガ非常ニ多イガ爲ニ、ヤレ供給過剩ダノ、ヤレ關稅障壁ダノ、ヤレ不當廉賣ダノ「ダンピング」ダノト云フヤウナ種々ノ問題ガ起ルノデアリマス、併シ獨逸ノ確安製造業ハ、ソナコトヲ餘所目ニ見ツ、

獨逸ノ學術研究ニハ、進歩ノ改良ヲ加ヘツ、益々盛ニナリテ行クノデアリマス、只今申述ベマシタノハ單ニ二三思ヒ付キマシタ例ニ過ギナイノデアリマス、若シ夫レ戰後ノ疲弊ニモ拘ハラズ、獨逸ノ學術研究ガ實績ヲ擧ゲマシタ例ヲ詳シク調ベシタナラバ、ソレハ到底數ハ切レナイノデアリマス、獨逸ニ於テハドウシテソナナニ學術研究ガ盛ニナリタカ、其原因ヲ尋ネテ見マス、御承知ノ通り獨逸ニハ澤山ノ大學ガアリマス、サウシテソコニハ「リヒ」形ノ教育法ガ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレハ有名ナル化學者「リヒ」ヒ「カ」千八百二十四年巴里留學カラ歸リマシテカラ工夫シタモノデアリマス、一言以テ之ヲ蔽ヒマスレバ、若シ學生ヲ教授ノ助手トシテ相共ニ深遠ナル學理ヲ研究セシメ、教授ノ研究ヲ完成スルト同時ニ、學生ニ研究ノ方法ヲ體得セシムルノデスリマス、此教育法ハ我ガ大學ニ於キマシテモ、或ル程度マデハ採用セラレテ居ルノデアリマスガ、主トシテ大學ニ於ケル研究費ノ不足ノ爲ニ、從トシテ大學ノ研究ト云フコトニ理解ノナイ種々ノ拘子定規ノ規則ニ縛ラレルト云フヤウナ氣味モアリマシテ、マダ「十分ニハ其效果ヲ發揮シテ居ナイノデアリマス、我國ニ於キマシテハ整理緊縮ト申シマスレバ、官民共ニ直接研究費若クハ研究獎勵費ト云フヤウナ費目ニ眼ヲ著ケルノデアリマス、ソレト對照イタシマシテ皮肉ニモ窮乏ノドン底ニアル獨逸ノ國庫ハ大學ニ於ケル研究費補助、堪能ナル研究者養成ノ爲ニ年々四百萬圓ヲ支出シテ居ルノデアリマス、戰時中四面楚歌ノ中ニテハ學術研究ノ獨逸ハ此費目ヲ戰前ニ比シテ増額シテ居ルノデアリマス、最近ソレヲ更ニ五百万圓ニ増額スルト云フコトサヘモ聞イテ居ルノデアリマス、ソレハソレト致シマシテ、何ト申シマシテモ獨逸ニ於ケル學術研究ノ牙城、中心トドモ申シテ宜シイカト思ハレマス、ハ、學術促進「カイゼル・ウキル・ヘルム」協會ニ依リテ統轄サル、幾多ノ「カイゼル・ウキル・ヘルム」研究所デアリマス、此協會ハ戰爭ガ始マリマス三年前ノ千九百

十一年ニ柏林大學創立百年記念ヲ機會ト致シマシテ、最初ハ富豪名門ノ「贖金」ニ依リテ基金ガ出來タノデアリマスガ、其基本金ハ獨逸貨幣ノ慘落ニ依リテ全ク無クナリマシタノデアリマス、ソコデ千九百二十年カラハ獨逸新政府ノ補助金ヲ得マシテ協會ノ事業ヲ繼續シテ居ルノデアリマス、同協會現在一箇年ノ經費ハ約二百五十萬圓、ソレヲ折半シマシテ、一半ハ政府支出金、他ノ一半ハ大キナ工業會社ノ寄附金等ニ依リテ支辨シテ居ルノデアリマス、戰爭ガ濟ミマシタ直後ニ「カイゼル・ウキル・ヘルム」ト云フ此協會ノ名前ヲ變ヘルト云フ話ガアリマス、ハ勝テ居ル、且又學術方面ノ研究ノ方ハ必要ハ更ニナリ、依然トシテ協會ニモ亦研究所ニモ「カイゼル・ウキル・ヘルム」ト云フ名前ヲ冠ラセテ居ルノデアリマス、是ハ勿論些細ナコトデハアリマスガ、其邊ニモ學術研究ニ對スル獨逸國民ノ牢乎トシテ拔クベカラザル自信ガ現ハレヤウナ氣ガ致スノデアリマス、戰前ニハ「カイゼル・ウキル・ヘルム」研究所ハ丁度十アツタノデアリマス、「ハーベル」教授ガ「アムモニア」ノ合成ノ發明ヲシマシタガ、其時代ニ其ノ研究所ノ中ノ一ツデシタノデアリマス、戰後此研究所ノ數ガ段々殖エマシテ、今日ハ三十三アリマス、獨逸ノ豫算總額ハ約三十億圓デアリマスガ、其中カ「莫大ナ賠償金ヲ拂フ、其他色々ナ事情ガアリマシテ、私ガ考ヘマスノニ、獨逸ノ豫算ハ先ヅ我國ノ豫算ト大シタ達ヒナイモノト見テ差支ナイト思フノデアリマス、又御承知ノ通り獨逸ニハ幾多ノ政黨ガアリマシテ、獨逸ノ議會ト云フ所ハ可ナリヤカマシテ所デアリマス、併シ學術研究ノ爲ノ政府支出金ニ對シマシテハ、獨逸議會ハ超黨派ノ一致ノ協賛ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、私ハ我國ニ於キマシテモ、各政黨ノ政綱ノ中ニ學術研究ノ振興ト云フ共通ノ文字ヲ發見セムコトヲ切ニ希望イタシマス、是カラ英國ノコトニ移リマス、戰前ニモサウ云フ氣分ガ無イコトハナカッタノデアリマスガ、戰爭ガ始マリマス、直グニ今更ノヤウニ英國ハ獨逸ノ學術

研究ニ對シテ脅威ヲ感ゼザルヲ得ナカッタノデアリマス、ソコデ遲延キナガラ始メマシタ、直グ翌年ノ千九百十五年ニ「ド・バートメント・オブ・サイエンス」ト云フ「ド・インダストリアル・リサーチ」ト云フ「フ」ヲ拵ヘタノデアリマス、我國ノ官廳ノ省ヲ通例「デパートメント」ト英譯シマスガ、此場合ハサウ云フ意味デヤナイノデアリマス、是ハ學術及工業研究院トモ譯シタラ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ千九百十三年ニ健康保險法附屬ノ機關トシテ出來マシタ醫學研究委員會、ソレヲ土臺ト致シマシテ、其規模組織ヲ擴張シマシテ千九百二十年ニ出來マシタ醫學研究評議會ト云フモノガアリマス、此學術及工業研究院ノ醫學研究評議會ト併セ考ヘマス、ソレガ丁度獨逸ノ學術促進「カイゼル・ウキル・ヘルム」協會ニ先ツ相當スルノデアリマス、尤モ實蹟ニ於テハ獨逸ノソレニ及ビモ付カナイノデアリマス、唯其形式ト設立ノ希望ノ趣旨ニ於テ略、似寄テ居ルノデアリマス、許シイコトハ總テ省略イタシマスガ、此兩機關ヲ通ジテ學術研究促進ノ爲メ英國政府ガマダ「醫學研究評議會」方ヘハ最近年額百五十萬圓ヲ支出シテ居リマス、學術及工業研究院ノ方ノ今年度ノ豫算ハ四百六十九萬圓デアリマス、サウシテ前年度ニ比シマシテ、僅カナガラ二十三萬圓増シテ居リマス、此兩者ヲ合セマスレバ、英國政府ハ學術研究促進ノ爲ニ年額七百萬圓以上ヲ支出シテ居ルノデアリマス、英國今年度ノ豫算總額ハ七十八億九千萬圓、ザト八十億圓デアリマス、併シ其中殆ド半分ニ垂ントスルノハ、戰時中急激ニ増加シマシタ莫大ナル國債ノ利子ト減債基金トデアリマス、其他色々ノ事情ヲ、彼レ此レヲ算ハ省キマスガ、考ヘマシテ二倍半乃至三倍ト見テ適當デアルト私ハ判斷シタノデアリマス、所デ近著ノ英國雜誌ニ依リマス、昨年十二月三十一日マデノ現計カラ推定イタシマシテ、今年度末ノ缺陷ガ最小限度二億五千萬圓ニ達スルデアラウト云フコトデアリマス、加フルニ「スノーデン」藏相ハ、本年度ノ豫算ニ僅カ

デハアリマスガ、二千三百萬圓ノ剩餘金ヲ見積テ居ルノデアリマス、ソレハ是レ合シマアリマス、詰リ見込達ヒノ不足額ハ約三億圓ニ於ケル、ソレハ丁度我國ノ豫算ノ場合ニ於ケル、約一億圓ニ相當スル不足額ニナルノデアリマス、元來毎年々々連續シテ莫大ノ剩餘金ヲ生ズルコトハ本來豫算ノ本質ニ反イテ居ル、ソレガ寛假サルノミナラズ、多々益々歡迎セラレマス所ニ人間ノ弱點ガ暴露サレテアルノデアリマス、剩餘ニ致シマシテモ、不足ニ致シマシテモ、ソレヲ出來ルガ少クスルノガ豫算ノ本質デアリマス、流石ハ英國デアリマス、戰時非常時ハ例外ト致シマシテ、豫算ガ本質的ニ出來テ居ルコトハ英國ノ誇リトスル所デアリマス、其本質的ニ出來テ居ル英國ノ豫算ニ於テ前申シマスヤウナ非常ナ不足ヲ生ジタコト云フコトハ、英國ノ財政難ガ如何ニ深刻デアラカト云フコトヲ物語ルモノデアルト思フノデアリマス、第五十六議會ノ最終日、而モ夜ニ入テ、此壇上ニ於テ山本前農相ガ説明セラレ、尙又先日町田農相ガ説明セラルシタテ裁特別會計、サテ英國ノ失業保險特別會計ハ其不始末、シダラノ無失點ニ於テ不思議ト思ハル位ニ我國ノ米穀特別會計法ニ似テ居リマス、斯様ナコトハ英吉利ニアリマシテハ珍シイコトデアリマス、是モ英國ノ財政難ガ如何ニ逼迫シテ居ルカト云フコトヲ示シ證據デアルト思フノデアリマス、尙又今朝ノ新聞ニハ、一昨日ノ英吉利ノ會議ニ於キマシテハ「スノーデン」藏相ガ染々英國ノ財政難ヲ懇ヘタト云フコトガ載テ居リマス、一國ノ財政難、其深刻ノ程度ヲ比較スルコトハ、是非常ニツカシイコトデアリマス、併シ只今一二ノ例ヲ擧ゲマシタヤウナコトカラ判斷イタシマシテ、財政難ニ於テハ何レカト申シマスレバ、我國ヨリモモト英國ノ方ガ困テ居ルカト思ハレルノデアリマス、其英國ニ於テサヘモ學術研究促進ノ爲ニ苦シイ中カラ年額七百萬圓以上ヲ支出シテ居ルノデアリマス、ソレハ丁度我國ノ場合ニ於ケル二百五十萬圓ニ相當スル金高デアリマス、尙又少シバカリツツデハアリマスガ、年々増額シテ居ルノデアリマス、貧乏ノド底、飢饉線上ノ

獨逸ガ學術研究ノ爲ニ年額七百萬圓ヲ支出シテ居ルコト云フコトハ先刻申述ベタ通りデアリマス、爾レ我國ノ現狀ヲ見マスルニ、各方面ニ於テ詰リソレヲ打破スル唯一ノ活路ガ學術研究ノ促進ニアル、我國現下ノ施設ヲ見マス、我國唯一ノ理化學研究所ニ對スル政府支出金ハ僅ニ年額二十五萬圓デアリマシテ、文部省ノ自然科學獎勵費ハ年額六萬圓ヲ出ナシ、人文科學研究費迄モ合セマシテモ合計年額十一萬圓ニ過ギナイノデアリマス、其他帝國大學附屬ノ五六ノ研究所ガ使テ居リマス、零碎ノ純研究費ヲ集メマシテモ、其總額ハ同ジ目ノ下ニ獨逸ノ政府ガ支出スル額ノ十分ノ一ニハ達シナイノデアリマス、我國ノ人口ハ年々殖エテ行クノデアリマス、尤モ増加率ハ今日ガ峠デアッテ、今後ハ減ルデアラウト思ハレマスガ、率ガ減リマシテモ人口ハ兎ニ角年々殖エテ行クノデアリマス、國土ハ狹ク資源ニ乏シキ我國ニ於キマシテハドウシテモ農業ノ進歩ヲ圖ル同時ニ工業ヲ以テ立國ノ要諦トシナケレバナラヌト云フ議論ニ付テハ、國論ガ一致シテ居リマス、サテ我國現下ノ大工業ハ多クハ外國カラ輸入サレマシタ模倣工業或ハ追從工業デアリマス、模倣追從ト云フコトハ我之ヲ爲セバ他ノ何人モ之ヲ爲シ得ルノデアリマス、例ヘバ紡績等ニ致シマシテモ、ソレ程遠クナイ將來ニ亞細亞大陸ニ於テ紡績業ガ勃興スルト云フガ如キハ、必シモ架空ノ話デハナイノデアリマス、丁度昨年英吉利ノ紡績業者ガ我國ニ參リマシテ怨メシゲニ我國ノ紡績業ヲ見テ參リマシタヤウニ、我國ノ紡績業者ガ他年一日怨メシゲニ亞細亞大陸ニ於ケル紡績業ヲ見ルコト云フコトガ無イト云フコトハ、何人ガ保證シ得ルデアリマセウカ、數年前ニ日獨通商條約ノ成立ガ三年越シニ行惱シタノハ、ソレハ染料問題ノ爲デアッタノデアリマス、又昨年未英國下院ニ於テ染料法案ノ問題ガ非常ニ紛糾シマシテ、今日デモ一年延期ノ形デ上院ガ擧ゲシ居ルヤウナ成行ニナッテ居ルノデアリマス、詳シイコトハ述ベル必要ハナイ、煎ジ詰メマスレバ、我國ノ染料工業モ英國ノ染料工業モ共ニ模倣工業デアリマシテ、只今述ベマシタ行詰リトカ

紛糾トカ申マスモノハ、模倣工業ノ避ケ難キ悲哀ヲ物語テ居ルモノデアリマス、詰リ我家本元デアリ暫クモ學術研究ヲ怠ラナイノ獨逸ノ染料工業ニ對シテ呼ビケタ宿命的ノ悲鳴デアリマス、既ニ前ニ述ベマシタヤウニ「硫安」ハ今日デハ廣ク各國ニ於テ製造シテ居ルノデアリマスガ、我國ノ朝鮮咸鏡南道ノ雲田面ニアリマス最新式大規模ノ硫安製造所ノ如キモノガ、廣イ世界ニハ幾ツモアルノデアリマス、其爲ニ我家本元ノ獨逸硫安製造業ガ多少ノ影響ヲ蒙ルコトハ免レナイノデアリマスガ、自國ノ學術研究ニ根柢シ、自國ノ日進月歩ノ學術研究ヲ背景トスル獨逸ノ硫安工業ハ、能ク世界ノ推移ニ順應シ、根本的ニハ微動ダモンナイノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、我國ノ場合ニ於キマシテモ、我國ノ獨創的研究ニ根柢スル工業カ、サウデナクテモ、模倣工業ニ致シマシテモ、我國ノ學術研究ニ依ッテ我國獨特ノ色彩ヲ與ヘテ、容易ニ他ノ模倣追從ヲ許サナイヤウニシナケレバ、國家百年ノ長計上、誠ニ心細イ次第デアリマス、ソレ故ニ我國運ノ一半ハ學術研究ノ振興ガ成ルコト否トニ係ルノデアリマス、然ルニ學術研究ノ振興ハ一朝一夕ニ成ルモノデアリマセヌ、ソレハ不斷ノ努力ヲ要シ、決シテ中斷ヲ許サザルノハ、極メテ見易イ道理デアリマス、不景氣ト云フヤウナ一時の現象ニ超越シテ、不撓不屈絶大ノ國民的努力ガ寸毫ノ間隙モナク繼續セラレタクテハナラヌノデアリマス、折角培養ニ丹精ヲ凝ラシテ咲カセタ花ガ、水涸レノ爲ニ實ヲ結バスニ凋レルガ如キコトガアリマシタハ、ソレハ百年ノ悔ヲ貽スモノデアリマス、人類將來ノ發展ガ空中ニアルハ、何人モ意識スル所デアリマス、サレバ航空界ノ優勝者タラムトスル列國間ノ努力競争ハ、一日ノ激烈ノ度ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、餘程以前ノコトデアリマスガ、或ハ御記憶ニ存シテ居ルカモ知レマセヌ、或ハ無名ノ外國人ガ不圖考ヘ付イタノデアリマス、日本人ハ體軀ガ小サクテ伶俐デ手先ガ敏捷デアルカラ、航空術ニ於テハキツト大成功ヲスルデアラウト云フ空想ガ浮ビマシテ、心密カニ微笑シタノデアリマス、ソコデ此人

ハ我國ニ於ケル飛行術ノ獎勵ノ爲ニ、匿名デ我が帝國飛行協會ヘ寄附金ヲシタノデアリマス、此人ノ匿名主義ガ徹底デアリマシテ、我國迄モ明カニシナイ爲ニ、一度ハ華盛頓ノ我が大使館ヲ經テ、一度ハ倫敦ノ我が大使館ヲ經テ、二口合セテ約十萬圓ヲ大正二三年頃ニ寄附シタノデアリマス、其後此恩人ガ或ル米國人デアルコトガ分リマシタ、其時ハ此人ハモウ疾クニ故人ニナッテ居タ、且又有り餘ル富豪デモナク殆ド此人ノ財產ハ大部分ヲ寄附シタト云フコトモ分タノデアリマス、我國目下ノ飛行界ノ現狀ハ此無名ノ恩人ニ對シテ何ダカ辛苦シイヤウナ感シガ致シマス、併シ最近航空學理ノ方面ニ於テ可ナリ立派ナ研究ガ出來マシテ、又昨朝ノ新聞ニハ東大工學部ノ航空科ヘノ入學希望者ガ溢レンバカリアルト云フコトガ書イテアリマシタ、又青年間ニ於ケル學生航空聯盟ナドガ、段々眞劍味ヲ帶ビルヤウニナッテ來タノデアリマス、我ハ技術ノ方ハ我國ノ青年少年ノ意氣ニ信賴シマシテ、益々航空學理ノ研究ニ精進シテ、無名ノ恩人ノ十五六年前ノ偶然ノ思ハキヲシテ、先見ノ明トナラシメテハナラヌノデアリマス、無線電信、「ラヂオ」、電送寫眞ト云フヤウナモノハ、總テ電波ノ應用デアリマス、實ニ今日ハ電波應用全盛ノ時代デアリマス、一番最初ノ應用ハ無線電信デアリマシテ、「マルコー」ガ無線電信ヲ發明シマシタノハ、前申シマシタ通り日露戰役ノ少前デアリマス、其「マルコー」ノ發明ハ、和蘭ノ「ローレンツ」教授ノ電波ノ學術的研究ト殆ド同身一體デアル、ソレカラ選リマスレバ獨逸ノ「ヘルツ」教授ノ理論的研究、更ニ選リマスレバ英國ノ「フアラデー」ノ實驗的研究、「マックスウェル」ノ理論的研究カラ出タモノデアリマス、電波ト云フモノハ理論的研究ニ依ルニ非ザレバ到底發見スルコトノ出來ナイモノデアリマス、サウシテ又電氣ノ理論的研究ト云フモノハ、微積分ニ依ルニ非ザレバ到底發見スルコトノ出來ナイモノデアリマス、諸君常識的ニハ微積分ナド申シマスガ、若シ微積分ノ發見ガナカッタラバ、我ハ「ラヂオ」ヲ聽

タコトガ出来ナイト申シタナラバ、其事モ亦常識ノ意外トスル所デアラウト思ヒマス、此微積分ハ二百六十年バカリ以前ニ、英國ノ「ニュートン」ト、獨逸ノ「ライプニッツ」ガ發見シタノデアリマス、所ガ茲ニ丁度同年代ニ、我國ニ於キマシテモ、關孝知先生ガ微積分ニ該當スルモノヲ發見シテ居ラルノデアリマス、關先生ガ全ク獨逸國孤立ノ境遇ニ於テ、是ダケノ發見ヲモレタト云フコトハ、實ニ我國ノ誇リシテモ宜イノデアリマス、勿論先生ノ如キ偉大ナル天才ハ、唯其生レ出ヅルヲ待ツヨリ外ナイノデアリマスガ、我國ニモ先生ノヤウナ大發見者ガアリマシタコトハ、國家ノ獎勵、國民ノ努力ガニ寄マレナカッタバ、我國學術研究振興ノ前途ハ、有望デアルコトヲ、暗示スルヤウナ感シガ致シマス、我國ガ國際平和ノ熱心ナル支持者デアルコトハ、自他共ニ許ス所デアリマス、國際主義ト云フモノハ、誠ニ結構ナモノデアリマス、併シソレハ健全ナ愛國心ト合理的ノ國家主義ノ上ニ建設セラレタル國際主義デナクテハナラナイ、サウデナイ國際主義ハ、空中ノ樓閣、骨牌ヲ以テ積ムガタ家屋ノヤウカモノデアリマシテ、眞ノ危機ニ會シマスレバ一堪リモナク無タナルデアリマス、我國ハ不戰條約ノ眞摯誠實ナル遵奉者デアリマス、不戰條約ガ正當防禦ヲ禁ズモノデアリコトハ、不戰條約成立ノ爲メ列國ノ間ニ交換セラレマシタ外交書ニ依リテ明カデアリマス、共存共榮ト云フニ依リテ亦非常ニ結構ナコトデアリマスガ、彼我其位置ヲ交換スルコトニ依リテ共存共榮ノ解釋ガ齟齬イタシマシテ、其懸隔ヲドウシテモ調和スルコトガ出来ナイト云フヤウナ場合モ亦アリ得ルノデアリマス、我國ガ正當ニ有スル權利權益ガ理不盡ニ脅カサレ、「クルデタ」式ニ蹂躪セラレルガ如キコトガ萬一アリマシタ場合ニハ、如何ニ辛抱強キ平和主義ノ我國ト雖モ、立ッテ正當防禦ニ當ラナレバ我ラナイノデアリマス、一旦緩急、事有リマシタ非常時ニ於テ、我ニ終局ニ於テ杖トモ柱トモ頼ミ得ルモノハ、我國國民性中ニ深キ根柢ヲ有スル義勇奉公ノ精神ト、之カラ萬難ヲ排シテ振興ヲ圖ラナ

ケレバナラヌ所ノ學術研究デアルノデアリマス、不景氣ノ根本對策トシテ、各方面ノ行詰リヨリ來レル國難ノ打開策トシテ、一旦緊急アリタル非常時ノ國ヲ支フル柱トシテ、學術研究ノ振興ノ必要ナルコトハ何人モ異存ナイコトデアリマス、尙ホ念ノ爲メ一言申シタイノハ、ソレハ、研究ニモ特色アリマス、直ニ效果ガ現ハレ、直ニ利益ヲ生ズルモノモアリマス、極々卑近ノ例ヲ申シマスレバ、化粧品製造所附屬ノ研究所、賣藥製造所附屬ノ研究所、サウ云フ研究所ニ於キマシテハ決シテ研究資金ノ缺乏ヲ感シナイノデアリマス、國家ノ厚キ保護獎勵ヲ要スルモノハ主トシテ純學術的ノ根本研究デアリマス、大藏大臣ハ昨年ノ五月十三日當議場ニ於テ、勿論咄咄ノ御答辯デアリマシタガ、斯ウ云フコトヲ御述ベニナッテ居ラシメテ、斯ウデアリマス、帝國大學及文部省ノ費用ニ於キマシテモ、研究費ハ餘程苦心シテ拮据シテ積リデアリマス、整理緊縮ヲ圖リマスノデ、大局上已ムヲ得ザル爲ニ、多少ツツ事務費等デハ削減シタモノモアリマスガ、兩科目ニ於テハ餘程心シテ豫算ヲ拮据ヘタ積リデアリマス、唯學術獎勵研究費デ二十萬圓以上削減シタノ記憶シテ居リマスガ、是ハ學術紀要ヲ拮据ヘマス大部分印刷費デアリマスガ、其原稿ガ是迄出來マセズ段々不用額ガ是迄殘リ居リマシタ爲、二十萬圓以上削減シタノ一番、目ニ立ツ削減デアリマシテ「云々」ト仰セラレテ居ルノデアリマス、茲ニ「大局」ト仰セラレマシタノハ、節約上ノ大局ノ意味ニ私ハ承ハタナラマシマス、私ハモウ少シ廣イ意味ノ大局カラ學術研究ノコトヲ御考慮下サルコトヲ希望スルノデアリマス、折角研究ガ出來マシテモ印刷費ガナイガ爲ニ發表スルコトガ出來ナイト云フノガ、從來カラ致シマシテ研究者間ニ於ケル深刻ナル憾ミデアリマス、研究ニハ會計年度ト云フヤウナモノハナイ、又ソレナコトニ屈託シテ居リマシテハ、人間ノ精神ヲ最大限度ニ集注シナクテハナラナイ眞劍ノ研究ト云フモノハ出來ナイノデアリマス、併シ政府ノ支出金デアリマスカラニハ、ドウシテモ會計法規ニ據ラ

ナケレバナリマセス、又學術研究關係ノ方面ニ於キマシテハ、事務官ト雖モ豫算ノ遣リ繰リ上ノカラクリ……ト申シマシテハ語弊ガアルカモ知レマセスガ、巧妙ナル按排ニ兎角迂闊デアルノガ普通デアリマス、サウ云フヤウナ喰違ヒカラ致シマシテ、印刷費ニハ非常ニ不自由マシテ居ナガラ帳簿ノ上ニハ印刷費ガ餘リテ居ルヤウナ變態的ノ形ヲ呈スルコトガ間々アルノデアリマス、此點ニ於キマシテモ何トカ學術研究ニ御同情アル御考慮ヲ賜ハラムコトヲ希望スルノデアリマス、序デナガラ文部大臣ハ御出ニナリマセスガ、ドナカラカ文部大臣ニ御傳ヘテ願ヒタウゴザイマス、一言申添ヘタリコトハ學術研究獎勵費ノ分配ノコトデアリマス、ソレニ付キマシテハ從來トモ種種苦情ガアッタヤウニ承テ居リマス、今日ノ如キ不況時ニ於キマシテ國民ガ血ノ出ルヤウナ思ヒヲシテ納メマス租税、ソレカラ支出サレタル學術研究獎勵費ハ最モ有効ニ使用セラレタナラナイノデアリマス、此點ニ於キマシテハ、文部當局者ガ粹イ所ヘ手ガ届ク獨逸ノ遺リ口ト大英斷トヲ、御見習ヒニナラムコトヲ希望シマス、文部省所管ノ學術研究獎勵費ガ年々削減サレルトカ、又先日モ衆議院ノ豫算委員會ニ於テ問答ガアリマシタ如ク商工省所管ノ發明獎勵費、ソレハ發明者ガ國庫ヘ納付スル金高ノ一部分ニ過ギナイノデアリマス、其少額ノ金高デアルニモ拘ラズ年々減ラサレテ行ク、勿論削減額モ極メテ少イノデアリマスガ、其年々減ラサレテ行クコト云フコトハ精神的ニモ面白クナイト云フヤウナ問答ガアツカト私ハ記憶スルノデアリマス、又數十萬圓ヲ費シテ多年苦心シテ研究所ノ建物ガ出來マシテモ經常費ヲ搾リ出ス途ガナイガ爲ニ、折角ノ建物ガ立腐レニナリツツアルト云フヤウナコトモ聞イデ居ルノデアリマス、マア左様ナ具體的ノ事情モ澤山耳ニ這入ッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ細イコトヲ苦情ヲ彼此レ申上ゲマシテ、甚ダ露骨ナ言ヒ分デアリマスガ、所謂答辯ノ爲メノ御答辯ヲ戴キマシテモ、ソレハ何ノ意味ヲナサナイノデアリマス、ソレ故ニ私ハ只今一二述ベマシタガ、ソレモ取消シタイ、

總テサウ云フコトヲ申上ゲルコトハ差控ヘマス、現在ノ如キ深刻ナル不景氣、ソレニ伴フ財政上非常ナル不如意逼迫ニ直面シテハ、尋常ノ考ヘ方デハ、到底要領ガ得ラレナイコトハ、初メカラ分テ居ルノデアリマス、明治時代ニ於テ其當時ノ爲政者ガ萬難ヲ排シ、終始一貫開國進取ノ國ニ忠實デアリマシタヤウニ、不景氣ノ根本對策トシテ、各方面ノ行詰レル國內ノ打開策トシテ、非常時ニ於ケル國ヲ支ヘル柱トシテ學術研究、ソレニ對スル當局者ガ理解、共鳴、同情、ソレヲ達スルコトハ固ルニ非ザレバ、到底此目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマス、此意義ニ於テ私ハ學術研究ノ振興ニ對スル現內閣、殊ニ大藏大臣ノ御所信ヲ伺ヒタリデアリマス、併シ今日ハ大藏大臣モ御出席ニナッテ居ラヌコトデアリマス、私ハ殊ニ此際御答辯ヲ煩ハス希望ハナイノデアリマス、何時カ大藏大臣ニ速記録ヲ御覽ニナリマシテ、サウシテ之ニ對スル御答ヲ得タイト思フノデアリマス、終リニ臨ミ尙ホ一言申添ヘルコトヲ御許シテ得タイ、一言以テ之ヲ覆ヒマスレバ、學術研究ノ振興ト云フコトニ過ギナイノデアリマス、併シ私ノ論旨ヲ明瞭ニスルガ爲ニ種々雜多ノコトヲ申上ゲマシテ、其爲ニ長時間ヲ要シ、其間御清聴ヲ煩ハシマシタコトヲ深ク御詫ビテ致ス次第デアリマス（拍手起ル）

○副議長（公爵近衛文麿） 本日ハ國務大臣ノ出席ノ都合上、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ是ニテ延會イタシタイト存ジマス

○副議長（公爵近衛文麿） 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後零時十六分散會